

総務広報委員会事業計画

総務広報委員会 委員長 荒井 尚久

55周年という節目を迎える本年、会員数の減少や在籍年数の低下などによって新陳代謝が早まり、新時代に合った組織運営や、卓越した発想、情熱を伴った行動力が求められています。真岡青年会議所はこれまでの激しい時代変化にも迅速に対応し、運動を起こすことで社会に存在意義を示してきました。どのような環境の変化が訪れようとも先達が紡いできた熱い想いを未来につなぐ LOM 運営と組織の価値や魅力が十分に伝わる広報活動が必要です。

本年度の活動方針を共有するために 1 月通常総会を開催し、丁寧かつ緊張感のある雰囲気の中で組織の熱い想いを感じていただくことにより、メンバー一丸となり本年度の活動を始められるよう意識を高めます。そして、メンバー一人ひとりが LOM の魅力を理解、共感していただくために、改めて組織の理念や他 LOM との違いを理解し、JAYCEE としての意識、行動を考えていただく機会を提供することで LOM の伝統を重んじる必要性を理解し熱い想いを持って活動できる意識を高めます。さらに、本年度の活動を顧みるとともに 9 月以降の活動及び次年度への意識を高めるために 9 月臨時総会を開催し、LOM として組織全体の意識統一を図ることで活動への意欲を高めます。また、本年度の活動を振り返るとともに、次年度体制を確立するために、12 月臨時総会を開催し、本年度の想いを次代へと引き継いでいきます。そして、メンバーが広報の楽しさを知るとともに積極的な広報を行うために、今あるツールやラジオを、より効果的に活用する仕組みを構築し、各月ごとに担当委員会と総務広報委員会で SNS を活用し、頻度の高い投稿を行い、多くの人びとに我々の活動を知っていただきます。

真岡青年会議所という組織を理解したメンバーは活動への意識が高まり、熱い想いをもって行動できるようになり、迅速な広報活動で意欲と地域社会への影響力を高め、時代が変化しメンバーが移り変わっても成長を推進し続けて行く LOM の実現をします。もっと熱くなれ。

<事業計画>

1. 丁寧な LOM 運営
2. 迅速な広報の確立
3. 事業で魅せる発信及び会員拡大
4. 全員で動く実働的な会員拡大
5. 日本青年会議所、関東地区協議会、栃木ブロックへの参加及び協力